

ふるさとテレビ関係者 ならびに視聴者の皆様へ



国土交通省
事務次官 竹歳 誠

次官就任に際しご挨拶申し上げます。

世界史を紐解きますと、聖地への旅、商用の旅、観光の旅と言った旅がその路程の各地にあらゆる産業を興して来ました。典型的な産業の一つが旅人へのホスピタリティに発するホテルでありホスピタルです。

一つの産業が興りますと、その産業をサポートする隣の産業が勃興発展する等、その前後に連なって多くの産業が興こり発展して来ました。

今日は交通手段に恵まれ、経済に恵まれ、史上、旅が最も盛んな時代であり、その旅の対象としての歴史的遺産や自然に最も恵まれている国の一つが我が日本国と言えらると思ひます。

只今の日本の喫緊の課題である景気対策としても、中長期的な立国基盤としても観光振興は我が国にとって最も有効な施策の一つであると思ひます。

そういう意味でも、ふるさと振興を標榜する、ふるさとテレビの運動はまさに時宜を得たものであり、大いにその活躍が期待される所です。

ふるさとテレビが観光の道標として、日本人はもちろんながら、日本を訪れる海外の方々にも大いに活用され、観光立国日本に寄与発展される事を心よりご期待申し上げます。

平成 22 年 8 月